

## 子ども部会 放課後事業所連絡会 おおつ障害者プランにむけての意見

(地域づくり、緊急時対応)

現在、学校や相談支援事業所、放課後等デイサービス等の福祉サービス、関係各所に個別の繋がりはあるものの、緊急時(感染症や災害等)に連携して対応できる環境が整っているとは言い難い。普段からお互いの顔が見える関係を作っていく(地域づくり)という観点からも、中学校区ごとに定期的に関係者が集まる機会を設けてほしい。いざという時に応援し合える協力関係を築くことや、医療的ケア児等に対するより専門的・効率的な支援を確立・確保することにも有益だと考える。

(重症心身障害児、重心医ケア児)

重症心身障害児(以下、重心児)や重心医ケア児の多くはそれぞれ専用のバギーで移動しているが、これは個々の状態に合わせたものであるため背もたれが完全に起きないなどの理由で大型の特殊福祉車両でも2名までしか乗れない。そのような大型車両を事業所ごとに複数台保有するのは非現実的であり、携わる人員確保と相まって利用者さんの受け入れを制限するハードルとなってしまう。昨今ようやく重心児・重心医ケア児受け入れ可能な事業所が増えつつあるにもかかわらず十分に活用しきれず、重心児や重心医ケア児の居場所を狭める一因となっている現状がある。ついては、福祉・介護の共同送迎事業の促進や、学校の送迎バスの活用等、効率的な送迎方法の検討・実現をお願いしたい。

(保護者就労支援の強化)

重度の障害児の母親も安定してフルタイムで働きたいという願いを聞いている。障害児者本人はもちろん、障害児を抱える保護者が社会に参加できるよう、障害福祉サービスや地域生活支援事業はもとより職場も含めたバックアップ体制をあらためて整備していく事が大切だと考える。重度の障害児者を持つ保護者やシングルの保護者等、働きたくても働けない人がいるという課題を広く周知して多くの市民の理解を得ることが肝要であり、「障害児者を抱える保護者も働きやすい大津」を創っていただきたい。放課後事業所連絡会としては、夕方以降も長く開所するための報酬や加算、助成等を検討していただきたい。

(保育所等訪問支援)

令和5年3月の厚生労働省の障害児通所支援に関する検討会報告書『3.インクルージョンの推進』にもある通り、保育所等の一般施策への後方支援の取り組みを強化すること、すなわち、子育て支援と障害児支援が双方向から緊密に連携して行われる地域体制づくりを進めていくことが重要であり、保育所等の障害児への支援の向上を図り障害児の抱えている課題を受け止めるサービ

スとして「保育所等訪問支援」を拡充させることが有益と考える。については、保育所等訪問支援がより効果的に活用されるよう、人員配置や報酬上の評価、運用について必要な見直しを検討していただきたい。具体的な例としては、目標設定を大きくすること(令和2年度の大津障害福祉計画において年 20 件の目標に対して実績 10 件)や、保育所等(学校を含む)に対して保育所等訪問支援の受け入れ協力を要請してもらうこと等。

#### (新一年生への情報提供)

すでに障害者自立支援協議会等でも検討されている事案ではあるが、新一年生の保護者への情報提供のタイミングや内容をできるだけ統一していただきたい。その上で、説明会や事業所見学、利用決定の時期等々について大津市としてある程度統一した方法を確立できたらと考える。行政、相談支援事業所、放課後等デイサービス・日中一時事業所等が協力し、わかりやすく公平な方法を取り決め運用することが、利用者や保護者の利益につながるかと考えるのでご検討いただきたい。

#### (支援の質)

放課後等デイサービスや日中一時支援事業所が提供するサービス内容の多様化は利用者のあらゆるニーズに応えるという点では歓迎すべきと考える。ただ一方で、すべての事業所が公的な福祉事業者としての支援の質を確保・維持し、どの事業所を利用しても一定水準以上のサービスが受けられることが重要と考える。この観点から、事業所の支援内容を客観的に観察・評価し、必要に応じて指導するような制度があればと考える。具体的な評価基準を作成したり、実際に見て回ることはなかなか難しいとは思いますが、公的資源という側面がある以上、質の評価体制を整備することは必要ではないかと考える。

#### (スーパーバイザー・支援の質)

厚生労働省の検討会資料に児童発達支援センターの中核機能の一つとして「地域の障害児通所支援事業所に対するスーパーバイズ・コンサルテーション機能」が掲げられているように、日々の支援の中で疑問に思うことやわからないことを相談したり指導を仰いだりできる方がいるととても心強い。これまでも多くの事業所がお世話になってきたと思われるが、事業所の数も増える中、そのように頼れるスーパーバイザー的な存在が少ないと感じる。児童発達支援センターの件もあるので、ぜひ早急に計画的にスーパーバイザーを増やしていただけるようご検討いただきたい。